

浜岡原子力発電所 地下構造特性調査(追加調査)のうち
陸域・海域弾性波探査およびボーリング調査の開始について

平成 21 年 10 月 13 日

当社は、地下構造特性調査(追加調査)のうち、陸域・海域弾性波探査^{※1}については平成21年10月10日に、ボーリング調査^{※2}については平成21年10月12日に開始しましたのでお知らせします。

実施期間は、陸域・海域弾性波探査は3ヶ月間程度、ボーリング調査は4ヶ月程度を予定しています。

<これまでにお知らせした内容>

当社は、平成20年9月から浜岡原子力発電所にかかわる地下構造特性調査^{※3}を実施していましたが、平成21年8月11日の駿河湾の地震で、5号機において他号機に比べ大きな地震記録が観測されたことを踏まえ、追加調査を実施することとし、調査項目のうちの地震観測については平成21年9月15日に開始しました。

(平成21年9月15日お知らせ済み)

- ※1 陸域・海域弾性波探査は、人工的な振動を発生させ、海底面や地中から戻ってきた弾性波を受振し、海底の状況や地下構造特性を確認する調査です。
- ※2 ボーリング調査では、地盤に孔をあけ(ボーリング)、地盤を構成する岩石などを観察して地質の状況を調査します。さらに、このボーリング孔を利用して、PS検層等を実施し、地下構造特性を確認します。
- ※3 浜岡原子力発電所にかかわる地下構造特性調査は、既往の調査結果の信頼性を確認するとともに、知見をより一層充実させるために実施していたもので、調査項目は、微動アレイ観測、微小地震観測、陸域・海域弾性波探査およびボーリング調査です。

以 上